

道徳教育センター校 研修発表会 世田谷区立弦巻中学校



<研究テーマ>

「豊かに表現できる児童・生徒の育成」
～道徳教育の充実を図り，道徳性を養う～

話し合い・発表活動を効果的に取り入れた授業の実現
評価をもとにした授業改善

【重点項目】

- ★1 話し合い・発表活動を効果的に取り入れた授業の実現
- ★2 評価をもとにした授業改善
- ★3 道徳的実践力につながる「特別の教科 道徳」へ



平成29年度(先行実施)

【校内研修】

- 道徳とは
- 道徳の授業について
- 「特別の教科 道徳」と評価について



平成30年度(1年目)

【取組の内容①】(3学期～4月初旬)

★全体指導計画・年間指導計画
の見直し

【取組の成果】

- 年間35時間の授業確保
- 授業の系統性
- 授業の「ねらい」の明確化



【全体指導計画】

平成30年度(改訂版)

道徳教育全体計画

世田谷区立立巻中学校

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
世田谷区教育委員会の教育目標
児童憲章
人権宣言

学校の教育目標
「教養と品格のある生徒の育成を図る」
優心…優しく他人を思いやり、自らを律し、社会に貢献しようという心をもつた生徒の育成を図る。
優考…探究心をもってよく学び、物事を深く考えて人に伝えることができる生徒の育成を図る。
優健…自らの健康を意欲、心身ともに、たくましく成長する生徒の育成を図る。

生徒の実態
保護者や地域の人々の願い
現代社会の課題と要請
教職員の見解

各教科
○道徳教育に力がかかる場面を明確にとらえて指導し、道徳教育の「その」効果向上を図る。(詳細は別添)
○生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、前向きに表現する力などを養うことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実を図める。
○指導体制を生かして教師の専門性の開発と人間的資質の向上に努め、生徒理解と教師の指導力のいっそうの充実を図る。

道徳教育の重点目標
優しく他人を思いやることを心がけて人と接し、人の力になっているという項目について肯定的評価が80%以上

特別活動
における道徳教育の指導の方針

○特別活動における学級や学校生活における集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的な実践の指導を行う重要な機会と見做す。活動の中で触れた道徳的価値について、その意義を自覚し、さらなる実践意欲と態度の育成に努める。
＜学級活動＞
○学級活動の内容について、自分の生活を振り返り、自己目標を定め、粘り強く取り組む態度を身に付ける。
＜生徒会活動＞
○自発的、自給的な活動を通して、異年齢にふさわしい人間形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度などに関する道徳性を身に付ける。
＜学校行事＞
○体験活動を通して、よりよい人間関係、自律的態度、身心の健康、協力、責任、公徳心、勤労、社会奉仕などに関する道徳性の育成を図る。

「特別の教科」道徳」の指導

Ⅰ
A. 主として自分自身に関すること
B. 主として人との関わりに関すること
C. 主として集団や社会の関わりに関すること
D. 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
以上の内容項目の道徳的価値について理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を行う。

各学年の指導の重点

第1学年
○楽しい生活習慣を身に付け、節度と節制に努め、調和のある生活をしようとする態度を育てる。
○誰かへ人間味に基づいた、他の人への感謝の心と思いやりの心を養う。
○集団の意義について理解し、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。
○地域の文化伝承に親しみ、郷土や国に愛着をもち、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
第2学年
○自分の力努力の成果を信じてひたむきに努力し、その結果について責任をもつよう態度を育てる。
○それぞれの個性や立場を尊重し、感謝の気持ちを持って動しようとする態度を育てる。
○社会の秩序や規律について積極的にかかわり、自らの命や健康を大切にし、公衆の福祉と社会の発展に努めようとする態度を育てる。
○日本の文化・伝統に理解を深め、世界の中の一員として自らが誇りをもち、国際社会の発展に貢献しようとする心構えを育てる。
第3学年
○思考や議論を重ねて生徒の道徳性を養うとともに、ボランティア活動等で生かせる生徒を育てる。
○個に応じた指導の工夫により、基礎力や定着を高め、生徒一人ひとりの学習意欲を高める。
○「快眼、快足、快運動」を奨励して、健康への意識を高め、生活習慣や運動習慣の改善に努めさせる。
○自分の自分を見つめ、教師指導後の具体的な生き方考えを目標に向かって努力させる。
1組
○お互いの良さを認め合い、苦手なことは話しあえる学級を目指し、
○優しく他人を思いやり、人のために役立ちたいと考えることができる生徒の育成。

推進指導体制

Ⅱ
○道徳教育は、特別の教科である道徳を要として学校の教育活動全体を通して行う。
○生徒のよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
○道徳教育推進教師を中心とした指導体制を整えPDCAサイクルにより進め方の向上をめざす。
○深く道徳から考える道徳、そして議論する道徳をめざし、指導方法の改善に努める。

総合的な学習の時間

○国際理解、情報・環境、福祉・健康等の探究課題に、主体的に判断して学習を進めたり、粘り強く考え解決しようしたり、他者を協働して生活しようとする姿勢・能力を養う。
○自然体験やボランティア活動などの社会体験と道徳科との関連を図り、道徳的な実践意欲と態度を育てる。
○地域の人の協力を仰ぎ、グループ学習や異年齢集団による学習等を工夫し、TSAなどの防災教育等を通して、多様な人間関係の中で道徳的価値のさらなる理解と実践意欲と態度を育てる。

教育環境の整備の方針

○生徒の「心の居場所」となる生活・学習環境の構築と整備に努める。
○校庭・校内における整理整頓を徹底して、清潔な環境を創出する。
○生命保障に関する安全な環境の確保にも留意し、生徒の通学・在学中の安全確保について、地域や関係機関との連携をはかり、学校内の整備体制とチェック機能の充実整備に努める。
○学級・学校の文化的風土の基盤となる言語環境を構築し、展示・放送・新聞等、メディア環境の改善及び活用機能の活用に努める。

特色ある教育活動の方針

○世田谷区道徳教育センター校として、道徳の探究の充実を図る。
○地域との交流事業を通してボランティア活動の醸成を図る。
○毎朝、始業開始前の10分間を読書の時間として位置づけ、全校を挙げて内省の時間とする。

【年間指導計画】

「道徳」年間指導計画(第1学年)

「道徳」年間指導計画(第2学年)

「道徳」年間指導計画(第3学年)

「道徳」年間指導計画(第4学年)

「道徳」年間指導計画(第5学年)

「道徳」年間指導計画(第6学年)

「道徳」年間指導計画(第7学年)

「道徳」年間指導計画(第8学年)

「道徳」年間指導計画(第9学年)

「道徳」年間指導計画(第10学年)

「道徳」年間指導計画(第11学年)

「道徳」年間指導計画(第12学年)

「道徳」年間指導計画(第13学年)

「道徳」年間指導計画(第14学年)

「道徳」年間指導計画(第15学年)

「道徳」年間指導計画(第16学年)

「道徳」年間指導計画(第17学年)

「道徳」年間指導計画(第18学年)

「道徳」年間指導計画(第19学年)

「道徳」年間指導計画(第20学年)

「道徳」年間指導計画(第21学年)

「道徳」年間指導計画(第22学年)

「道徳」年間指導計画(第23学年)

「道徳」年間指導計画(第24学年)

「道徳」年間指導計画(第25学年)

「道徳」年間指導計画(第26学年)

「道徳」年間指導計画(第27学年)

「道徳」年間指導計画(第28学年)

「道徳」年間指導計画(第29学年)

「道徳」年間指導計画(第30学年)

「道徳」年間指導計画(第31学年)

「道徳」年間指導計画(第32学年)

「道徳」年間指導計画(第33学年)

「道徳」年間指導計画(第34学年)

「道徳」年間指導計画(第35学年)

「道徳」年間指導計画(第36学年)

「道徳」年間指導計画(第37学年)

「道徳」年間指導計画(第38学年)

「道徳」年間指導計画(第39学年)

「道徳」年間指導計画(第40学年)

「道徳」年間指導計画(第41学年)

「道徳」年間指導計画(第42学年)

「道徳」年間指導計画(第43学年)

「道徳」年間指導計画(第44学年)

「道徳」年間指導計画(第45学年)

「道徳」年間指導計画(第46学年)

「道徳」年間指導計画(第47学年)

「道徳」年間指導計画(第48学年)

「道徳」年間指導計画(第49学年)

「道徳」年間指導計画(第50学年)

「道徳」年間指導計画(第51学年)

「道徳」年間指導計画(第52学年)

「道徳」年間指導計画(第53学年)

「道徳」年間指導計画(第54学年)

「道徳」年間指導計画(第55学年)

「道徳」年間指導計画(第56学年)

「道徳」年間指導計画(第57学年)

「道徳」年間指導計画(第58学年)

「道徳」年間指導計画(第59学年)

「道徳」年間指導計画(第60学年)

「道徳」年間指導計画(第61学年)

「道徳」年間指導計画(第62学年)

「道徳」年間指導計画(第63学年)

「道徳」年間指導計画(第64学年)

「道徳」年間指導計画(第65学年)

「道徳」年間指導計画(第66学年)

「道徳」年間指導計画(第67学年)

「道徳」年間指導計画(第68学年)

「道徳」年間指導計画(第69学年)

「道徳」年間指導計画(第70学年)

「道徳」年間指導計画(第71学年)

「道徳」年間指導計画(第72学年)

「道徳」年間指導計画(第73学年)

「道徳」年間指導計画(第74学年)

「道徳」年間指導計画(第75学年)

「道徳」年間指導計画(第76学年)

「道徳」年間指導計画(第77学年)

「道徳」年間指導計画(第78学年)

「道徳」年間指導計画(第79学年)

「道徳」年間指導計画(第80学年)

「道徳」年間指導計画(第81学年)

「道徳」年間指導計画(第82学年)

「道徳」年間指導計画(第83学年)

「道徳」年間指導計画(第84学年)

「道徳」年間指導計画(第85学年)

「道徳」年間指導計画(第86学年)

「道徳」年間指導計画(第87学年)

「道徳」年間指導計画(第88学年)

「道徳」年間指導計画(第89学年)

「道徳」年間指導計画(第90学年)

「道徳」年間指導計画(第91学年)

「道徳」年間指導計画(第92学年)

「道徳」年間指導計画(第93学年)

「道徳」年間指導計画(第94学年)

「道徳」年間指導計画(第95学年)

「道徳」年間指導計画(第96学年)

「道徳」年間指導計画(第97学年)

「道徳」年間指導計画(第98学年)

「道徳」年間指導計画(第99学年)

「道徳」年間指導計画(第100学年)

平成30年度(1年目)

【取組の内容②】(夏季休業)

★「別葉」の作成

【取組の成果】

- ・教員の意識が向上

【今後の課題】

- ・別葉の効果的な活用方法



★1 授業の充実に向けて

【取組の内容】

★統一したワークシートの活用

★授業の「ねらい」の明確化

★話し合い・発表活動

★ICTの活用

【取組の成果】

- ・授業の流れの確立
- ・生徒の意識の向上



【統一したワークシート】

平成30年3月 東京都教職員研修センター
道徳科 指導と評価のガイブック(P.49)

道徳科 第 回 平成 年 月 日 ()

年 組 番 氏名 _____

本時のテーマ「 _____ 」

自分の考え

友達の考えを聞いて、共感したことや考えを見直したことなど

学んだことや大切にしたいと思ったこと

	振り返ること	◎よくできた ○できた △もう少し
①	本時のテーマについて自分の考えをもった。	
②	友達の考えのよさを見つけた。	
③	友達の考えを受け止めて、自分の考えを見直した。	
④	今までの自分の生活を振り返って考えた。	
⑤	これからの生活に（続けて）生かしてみようと思った。	

【話し合い・発表活動】



★2 評価の充実に向けて

【取組の内容】

- ★各学期に評価を行う
- ★その都度、評価を校内で検討
- ★検討事項を評価に反映する

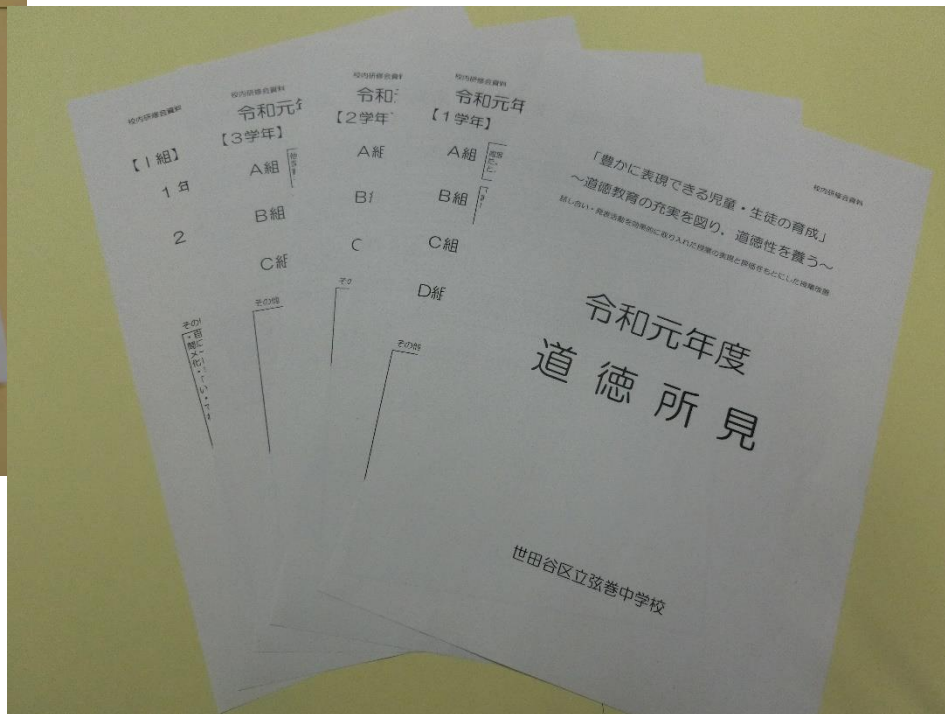
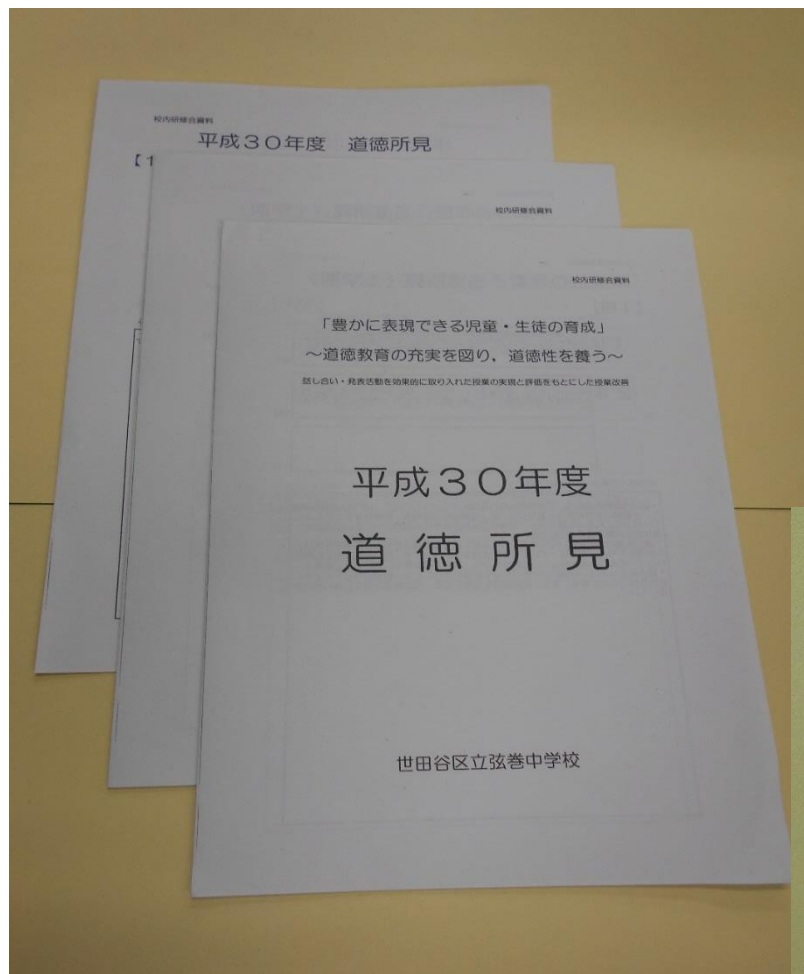
【取組の成果】

- ・評価方法を共有
- ・評価をもとにして、授業改善へ



【道徳所見集】

- ★大きなテーマの評価
- ★特によかった単元の評価
- ※生徒の変容(成長の様子)など



平成31年度(2年目)

【取組の内容】

★教科書を使用した授業の実施

★統一ワークシートの工夫・改善

★評価の研修会

★優郷の学び舎での 小・中連携



【授業の様子】



【研究の成果】

- ★ 道德の授業について、意識の向上
- ★ 工夫されてきた授業（レベルアップ）
- ★ 生徒の道德的意識の高まり
- ★ 多面的・多角的な見方へと発展



今後に向けて

【授業】

★「考え、議論する道徳」の推進
⇒指導方法の工夫・改善

【評価】

★多面的・多角的な評価
⇒評価方法や文章表現

【別葉】 ⇒ 効果的な活用方法

